



fullmerson

presented

by

bakunyu fullmerson

adult
only!



—それで
捕獲したア
バラランチの
女というは
あれか？

見かけによらず
馬鹿力なもんで
黙らせるのに
苦労しちまって……

o f f l i m i t s

By 黒龍眼

—それで、

こんなところに
ヤツをほうり込んで
一体何を？

あまりいい趣味じゃ
ない事をしようとして
るのとは
なんとなく
ワカルんですが

余計な口を聞くな

本来ならば
我々と一部の上層部の
人間しか実験の立会いなど
できんのだが...

今回は
ルーファウス総帥の
お望みという事もあり
特別にお前達タークスにも
同席する事を許可している
だけだという事を
忘れるな

へいへい
わかりましたよ

博士
そろそろ準備が
できました

—うむ

では
はじめるか

なあ……
宝条よ

そろそろ
教えてくれても
いいだろう
今から何を見せて
くれるというのだ？

ルーフアウス様

あなたのお父上……
プレジデント神羅様が
亡くなられてどのくらい
なりますかな？

……
2ヶ月になるのか

まじとにいたましい
ことではありましたが

—そうです

総帥は我々の研究に
非常に高い関心をお持ちで
多くの資金を投資して頂いて
おりました

私を含め科学部門の研究員は皆
そのご期待にお応えするべく
日々新しい技術を模索し実験に実験を
重ねてまいりました

—昔親父から
聞いた事がある

「究極の生物兵器」の
繁殖と制御および
その兵器利用に関して
だったか……

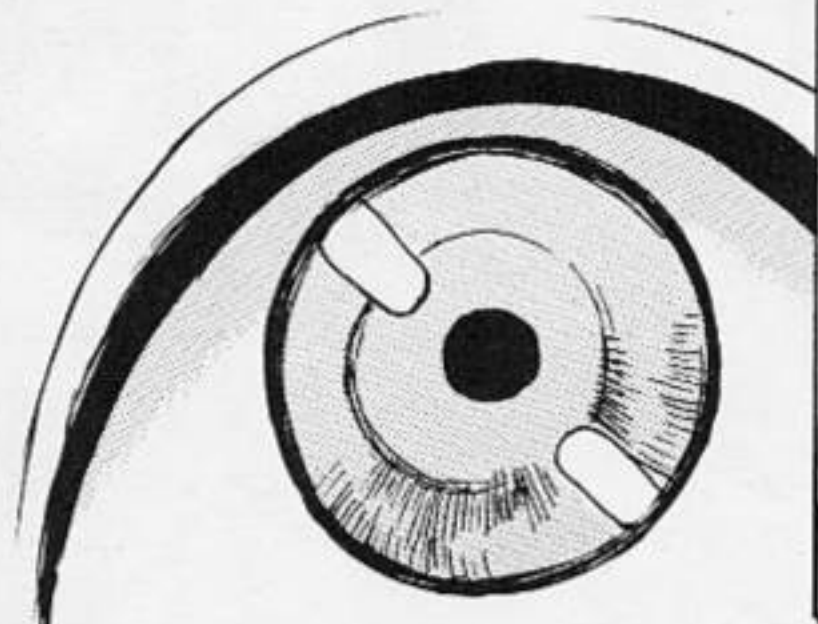
—左様で

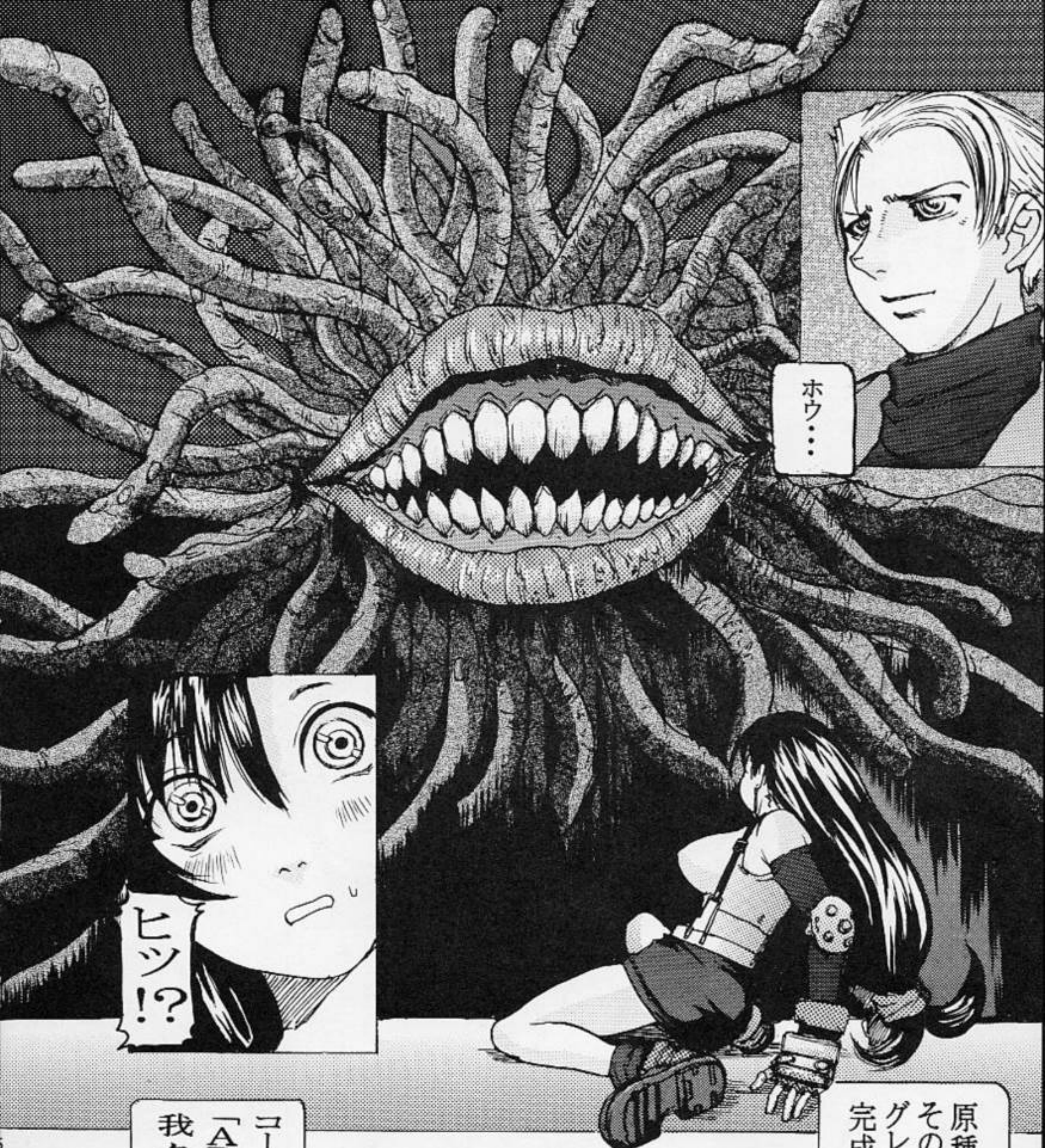
そして我々は
数多くの生物兵器を
研究してまいりましたが
……

その中の一つにかねてから
総帥が特に興味深くしておられた物が
ありましてな……

総帥は特にあるサンプルに
非常に興味を
持たれました……

あ……





ホウ……



ヒッ!?

原種名称「モルボル」——
その中でも特に強靱な
グレート種を改良して
完成させた……

コードネーム
「ADOMIS」——
我々はそう呼んでいます……



—フム…
噂には聞いていたが
これほど巨大で醜悪
だったとはな…



この改良種はは通常の
それとは違い
人間に産卵・受精をし
寄生させることによつて
より確実且つ強靱な固体の
繁殖を可能にしたものでして

ふ…ふふふ…

…



えっ…!?

いやああああつ!!
何これえつ!!

そして只今より
今回捕獲した
アバランチの女を使つて
その生殖実験をしよう
というわけです

なるほど
そういう事か

やあ



あ

ア
エツ

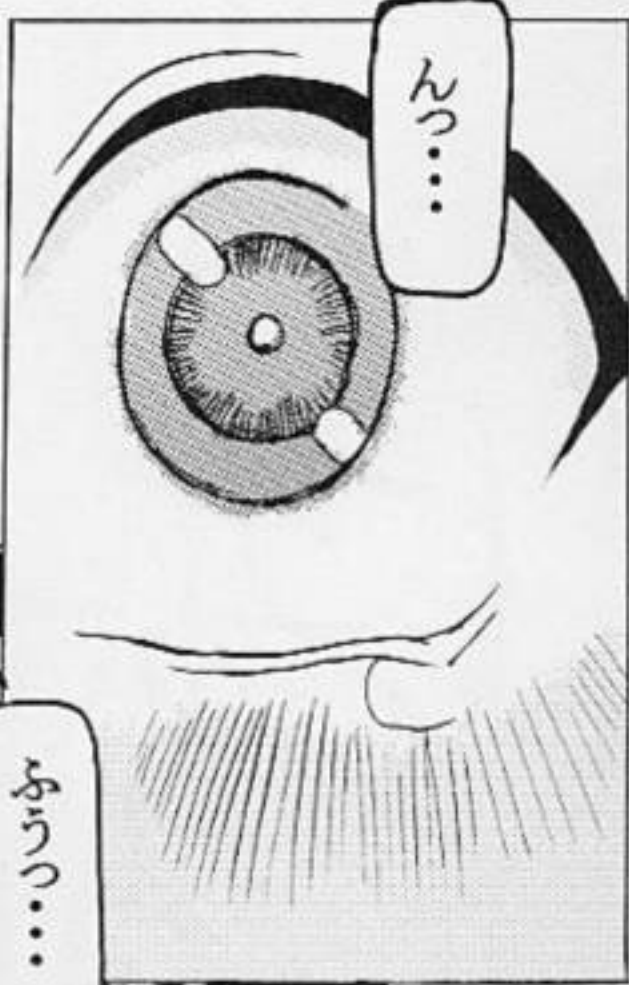


何だ？
あの鼻の穴に
入っている管は？

あれは彼女の脳の中に
直接入り込んで
彼女の視床下部の性欲中枢に
刺激を与えているのです



そうすることで
彼女の性欲を直接
高める事によって
生殖行動を
しやすくするのですよ



脳に対する
直接刺激が相手では
いかようにも抗う事は
できません

刺激を与えるために
注入された物質は
時間をかけて
彼女の体を侵食して
いくのです

じきに彼女は
快樂の虜に
なるでしょう

ひあうっ……

おねがいつ……
やめてえっ……





なっ...
何これっ...



どろり

ぷんぷん

きもち
わるいよおっ...

どろり

はひっ



あぁあっ

んうっ

やああっ

ぷんぷん

ヒューツ
スゲエなつ

怪物には
勿体無いくらい
美味しそうな
オツパイだ

ぞ、と

なんなら
今からあの怪物と
仲良く3Pでも
してきたら？



そりやあ名案だ
ぞ、と

愛やロマンの
かけらも無いやつとの
セックスなんて
御免だね

ぞ、と

けどよう
俺あー

フン



そうは言っても
お前達とて
あの怪物と
さして変わらんよ

その証拠に
見たまえー

愛なんて物は
それを認めない
奴等の言い訳だ





「ADOMIS」は
彼女を単なる生殖の
対象でしか見ていない
ように見えるがー

あれはあれで
「彼」なりの愛情表現を
しているのだよ





だめえっ!!!

だっ...

ああ...!

いっ...

ずちゅわ



ズちゅわ

ボッ

そんなあああ!!
ちくびにいけないでえええ!!!



おっ...
おっばいがあああっ
こわれちゃうよおっ...

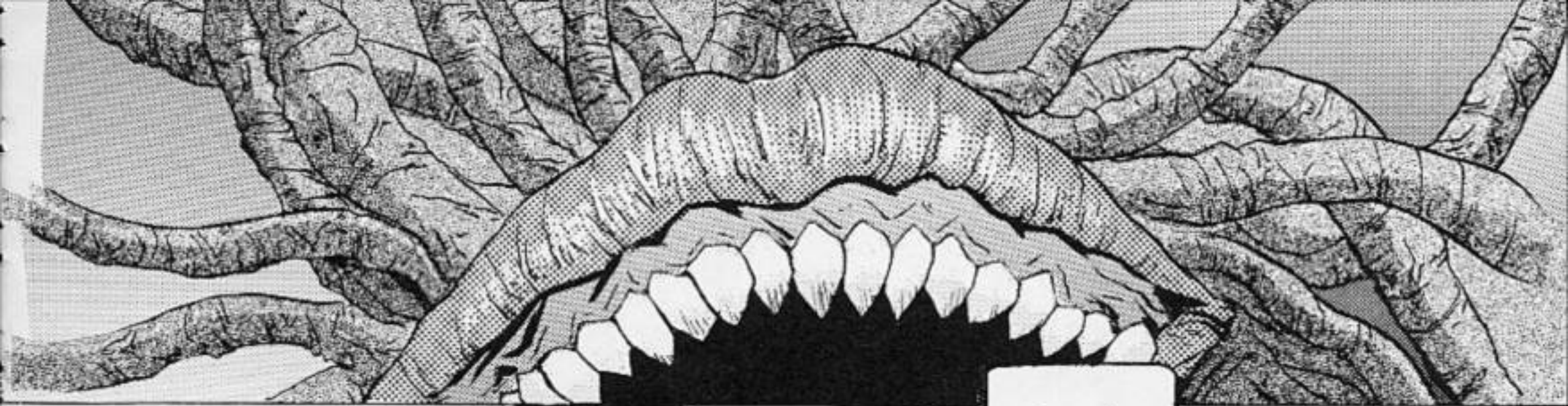
うああっ

あああっ

じゅぷっ

じゅぷっ





—なかなかにしぶとい女ですな…

はあっ



ひあっ

ああっ
ふん



「ADOMIS」も少し腹を立てている様子だというのに







ひあぁっ...

びん

あっ...あっ...

ヌル

ぶちゅん

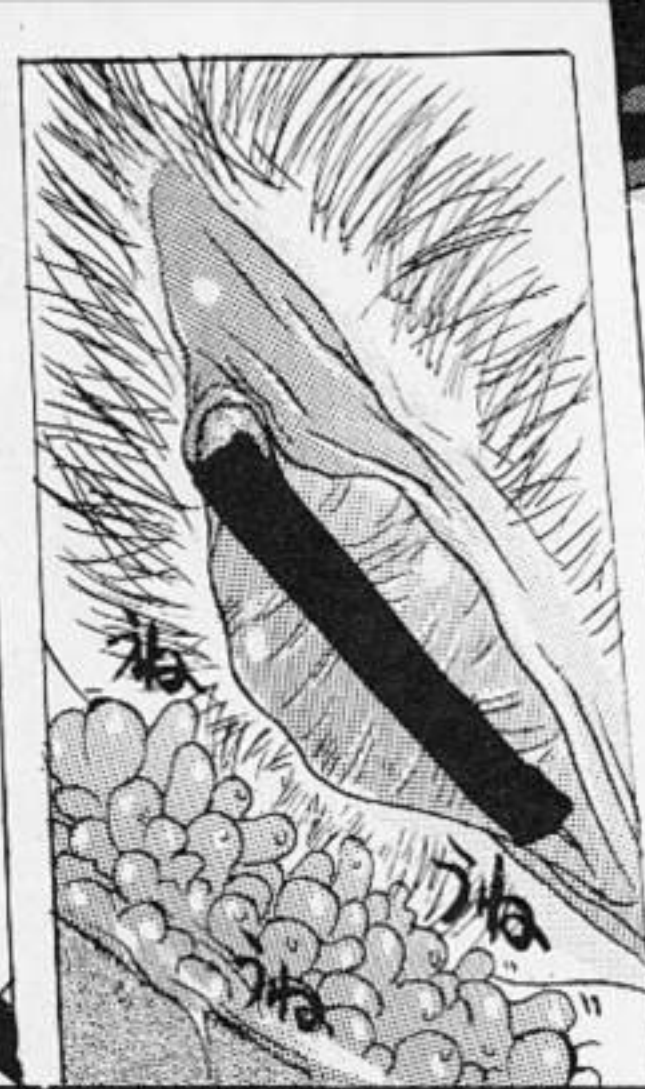
うあっ

はあっ...

イボイボが
こすれてっ...
ああああっ!



だめっ…
直接なんて…



な
な
な



やつ…
そっは…



あヒツ!?



しい
るる

あああああっ!!!



はああああんっ…
かっ…かんじちやうっ

少しずつ
神経が冒されてきている
ようだな



はあっ

所詮
人間は
快楽からは
逃れられないと
いうことです



ひっ



ぬいっ
ぬいっ
ぬいっ



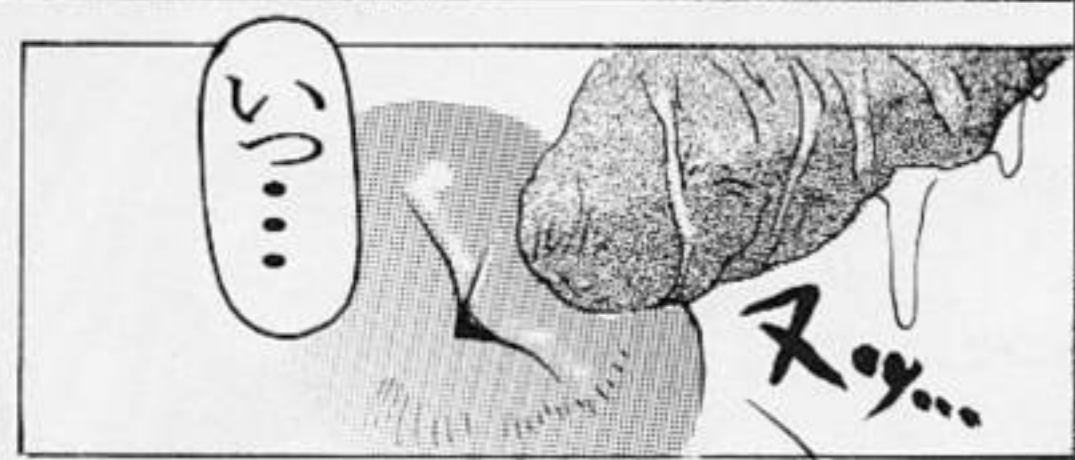
...?

エラアアアッ



あああ...

ニョルッ



ふっ...

ヌョ...



いやあッ!

ひいひいっ!!
お尻の穴に
入ってくるっ!!

プクッ

やつこさんも
エゲツないねえ
よりによって尻の穴から
先にするなんて

ぞ、と

フフフフ……
ただ単に尻の穴から
攻めているわけでは
ないのだよ

ああっ……

はっ





すっ……
吸わないでえっ!!!

ズン



吸わないでって……
まさかウンコでも
吸い上げてるのか？

—その通り

もともとモルボルと
いう生物は雑食性の
高い生物でねえ



まあ
今の彼女にしてみれば
そんなモルボルの都合よりも
尻の穴から攻められていることに
快楽を覚え始めている事の方が
重要なのだろうか



生物界において「消費者」で
あると同時にバクテリアのように
「分解者」としての役割も
持っているのだ



はあっ

おっ...
おしりっ...
おしりがある

きもち...
...
...

ひびく

ひびく

あはっ...



おーおー
ついに自分で
ケツの穴ひろげ始めた
ぞ、と

よほど気に入ったのか
あるいは神経の侵食の所為か
タガが外れたようだな



ズッ

ヒッ...



ああっ

あっ!



はっ



あっ...
あひっ...

ああッ

アッ

アッ

吸われてる...
吸われてるうッ...



...

アッアッアッ



アッ

アッ

まっ...
待つて...
入れたら...

だっ...



あおおあああつ!!
ふっ...ふっ...!!
太すぎさるううう!!!



ひっ...
いやあ...
ひっ...
いやあ...

し...
子宮の奥まで
はいってきているよおっ

ゴゴ

ゴゴ



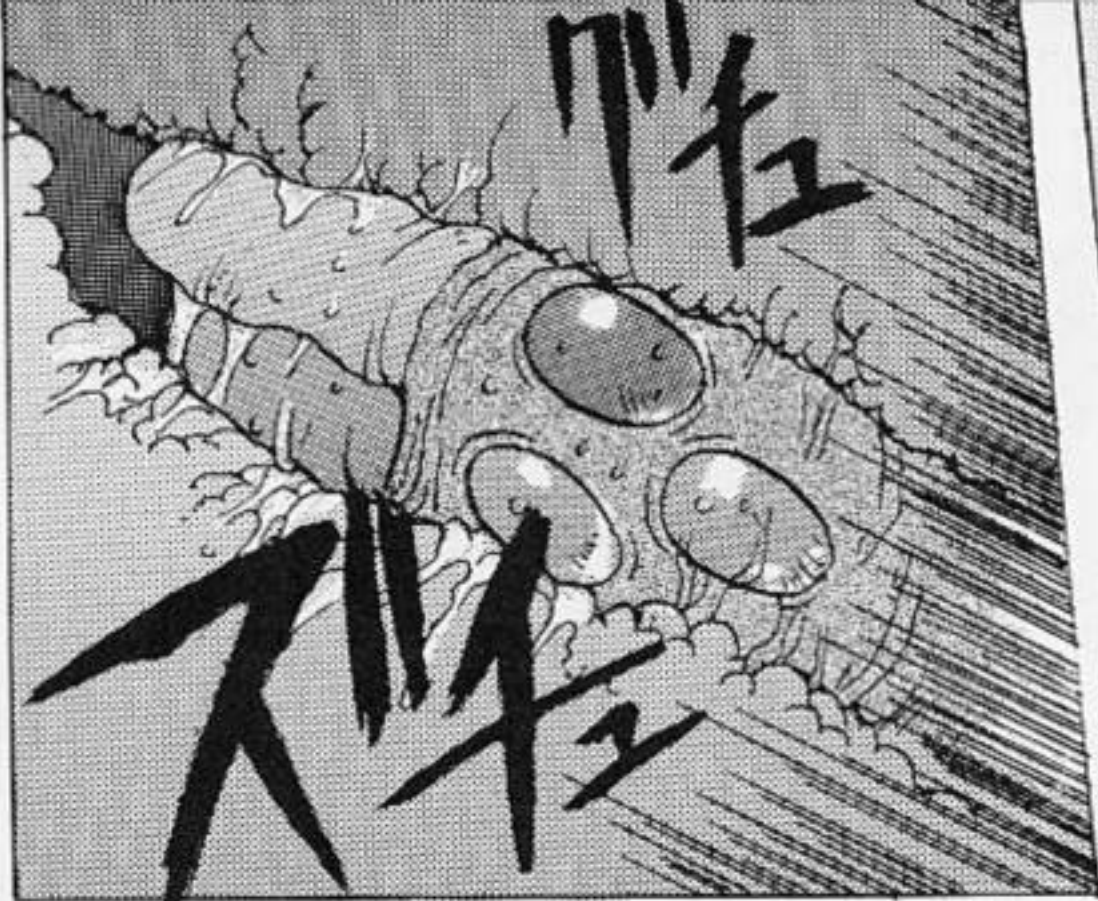
ん...

あ...あ...

あ...あ...

あ...あ...

あ...あ...



「ADOMIS」は彼女の事を
最大限に慈しんで
おりますよ



それにしても
随分と荒っぽいが
あれでも彼女は
感じているのか？



ご心配
ありません

ですから
今の彼女はただひたすらに
身の快楽を貪っている筈です



そろそろ脳のほうも
神経が冒されて
もはや何に犯されて
いるのかすらも
わからなくなつて
きていることでしょう

すでに彼女は「彼」の子孫を産む為の道具でしかないのです



30

おっ・・・
おなかのなかに・・・
なっ・・・なにかあつ
でてるううっ!!!





？
どうした？
彼女の様子が変だが…

あじくあめ
あめあめ

「産卵」が
始まったのです

ゴッホ
ゴッホ

生殖行動の第一段階として
まず彼女の子宮内に
「雌管」と呼ばれる生殖器を
挿入して大量の卵を
母体の子宮内に産みつけます

ボタッ
ボタッ
ボタッ

ズシッ
おぼろ



ああっ

うあっ

うっ...

はあっ...



おあつ...
 おなかがあつ...
 くるしいよおおつ...

はあ

はあ

ずぼっ

おーおー
まるで妊婦だな
腹があんなに
膨らんじゃまって……

ぞと

モルボルの一回の
産卵数は通常は数千個
その殆どが幼体のうちに
いろいろな要因によって
淘汰されてしまうのだが



そしてなにより「受精」を
より確実且つ安全に
行う事が出来るのだ

人間に産卵する事によつて
孵化の段階での外的要因
による固体の減少を
最小限に抑える事ができる



ルーファウス様
ご覧下さい

あれがモルボルの
「雄管」……
人間で言うところの
ペニスにあたります





なんと醜い...
しかも大きいと
きている



見たまえ
アレをー

ー心配なぞ
要らんよ

しかし
あんなぶつといモノ
入るのか？

ぞと



オオオッ
オオオッ
オオオッ

はあっ…

はあっ…

それえっ…
ここに…
ここに…
ここに…

彼女の頭の中は
あれによってもたらされる
快樂の事しか頭に
無いようだ

もはや彼女は
みずからあの雄管を
受け入れようとしている

あの顔はまさしく
そう物語っているようだ

すげえなあ
あんなに太いものを
あつさりやと啜えこみやがった

ぞと

うじ...
うじうじうじうじ...
すごいのおお...

あつ

ああつ

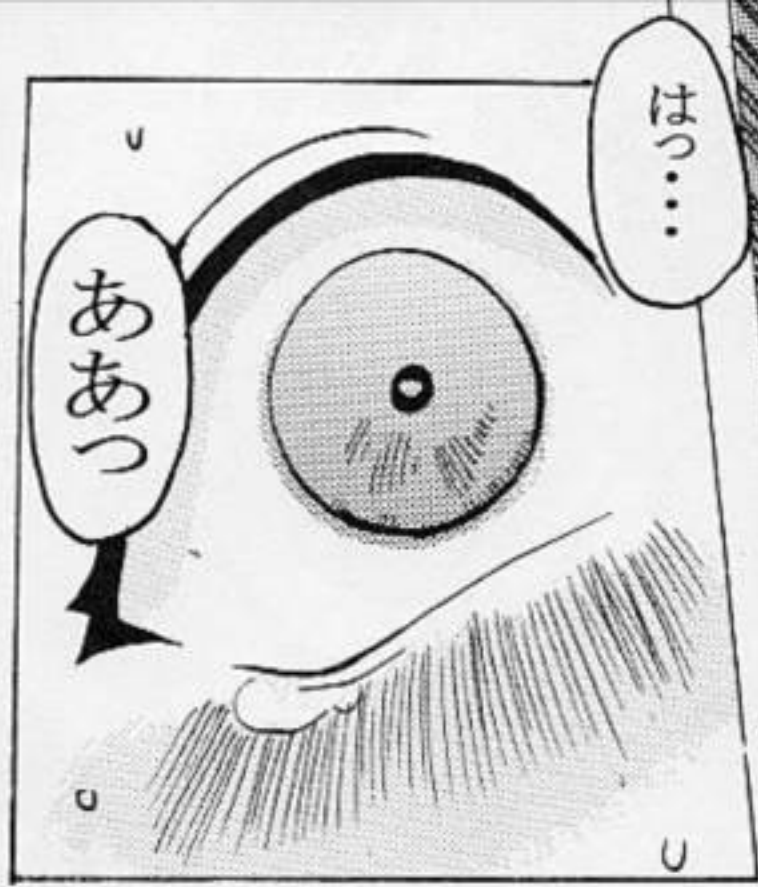
グ
グ
グ

ズ
ズ
ズ

はっ

あつ

あつ





ヒッ...

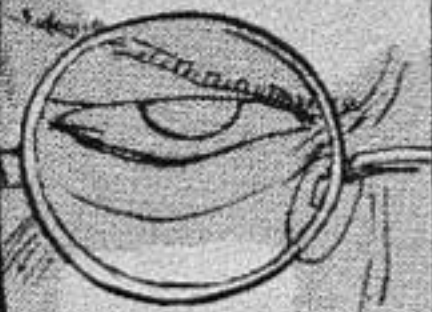
あつ...あああつ...
何これ...
あついのがあああつ!!!

ズ
ズ



あつ...

あつ...





おす
ポゴン
ポゴン

おっ...
おなかがああっ
はれつしちやいそうつ...
こっ...これ以上はああっ!!!

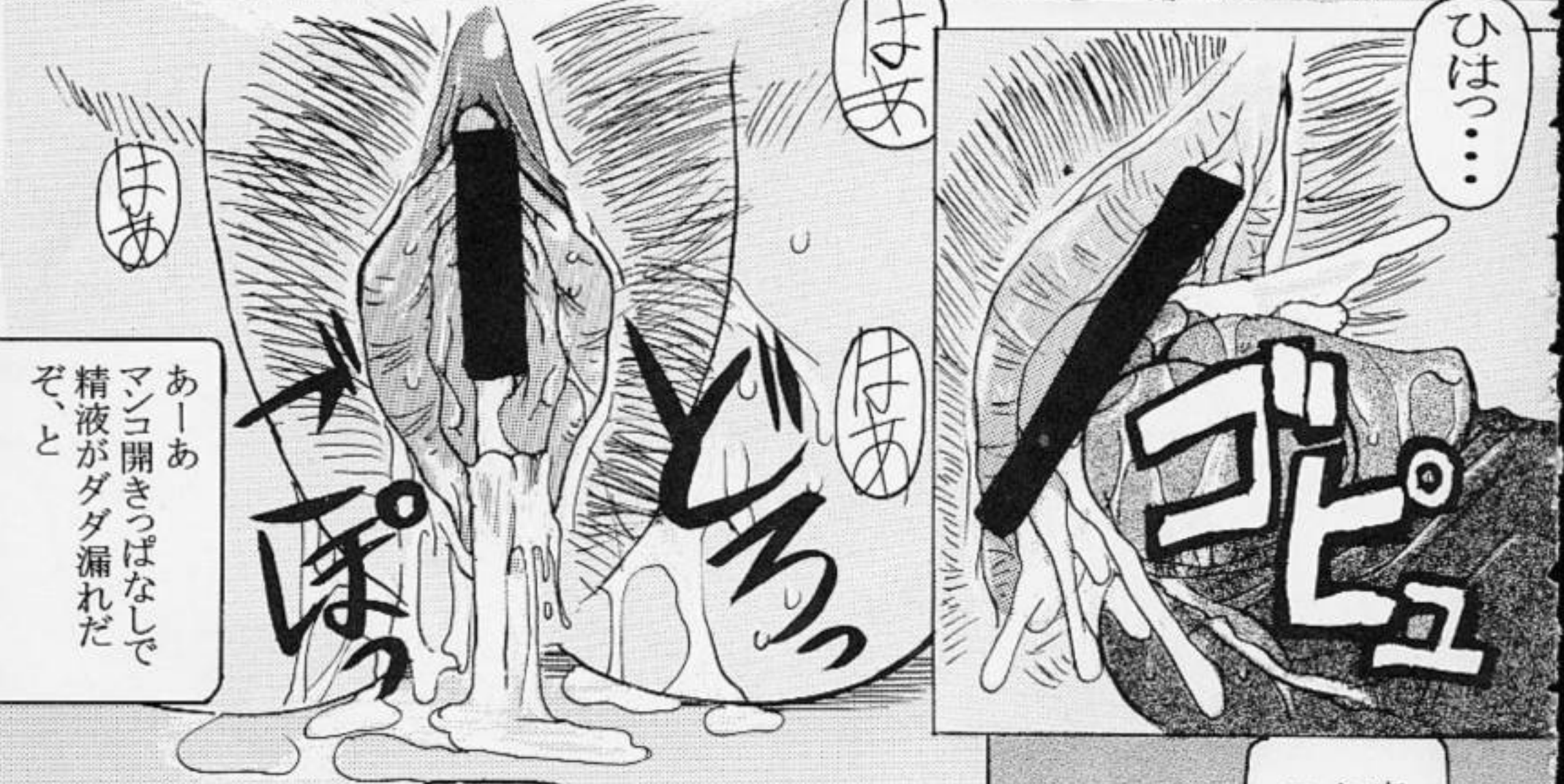
ゴゴゴ

ゴゴゴ



はかつ...

おっ...



ひはっ...

おっ

おっ

おっ

あーあ マンコ開きっぱなしで 精液がダダ漏れだぞ、と

ぽっ

ゴピュ



それにしても...

あの捕獲した アバランチの女も よく持ちこたえてくれました



宝条ー なかなか面白い 見世物だったよ

喜んで頂けて 光栄です

このまま順調に受精卵が
成長すれば1週間後に
卵は全て孵化して
より強靱な固体が
彼女から産まれること
でしょう

あー

ナースー

肉体的にこそ持ちこたえましたが
もはやあの女は視床下部の
性欲中枢をコントロールできない
ようになってる筈……

あとは兵士の慰み物にするなり
処刑するなり
総帥の思うが俣として頂いて
構いませんが……
さて……どういたしましょうか……

end.

atogaki

現在入稿1時間前・・・

いやもう何も書く気がおきませんが、なんとか書かないとどうにも終わった気がしないのでふらふらな感じで書いています。

今回の本はそのスケジュールからして少々無理かなとも思いつつやっていたので

そういうしわ寄せがいろんな所にきてるわけですが、そういう時になぜか倍手間のかかるものをチョイスしてしまうあたりなんとも要領の悪い自分を悔やんだり。

そうはいっても絵を描くのは楽しいので結局やっちゃうんですが、今回は楽しいだけでどうこうなる様子じゃなかったような・・・本当は今すぐにでも休筆して新しい絵の模索に時間を費やしたいところなんですけど、どうも変な悪循環に入っちゃって結局本の作業の中でそれを模索しないとどうにもならなくなってちょっと苦しいんです今。

やはり前ばかり向いててもどうにもならんですね。横向いたり後ろ見たりして自分の位置を知る事も必要だと思ったり・・・

作品に関して、やることはひととおりに以上やってるのであんまりいうこと無いんですけど強いていうなら神羅の人はちょっと煮詰めが足りないなあと痛感。

ホントは出てくる予定無かったんですけど、モルボルだけじゃ間が持たないんでいろいろとしゃべらせてみましたが、ううむ。そこだけは心残りです。

あとは・・・ティファは可愛いなあと。また隙を見て本を作りたいですなあ。

あとユフィも。どっちも今更って感じですが、流行を追うよりそっちの方が性にあってるようでなんか嬉しいような寂しいような。

ああ眠い・・・というわけでまたあらためて増版があったら後書きも書き直しますわ。

今は頭が回らなくて・・・

申し訳無いです。

それでは、次の本で。

2002年7月某日 黒龍眼

奥付

発行
爆乳フルネルソン

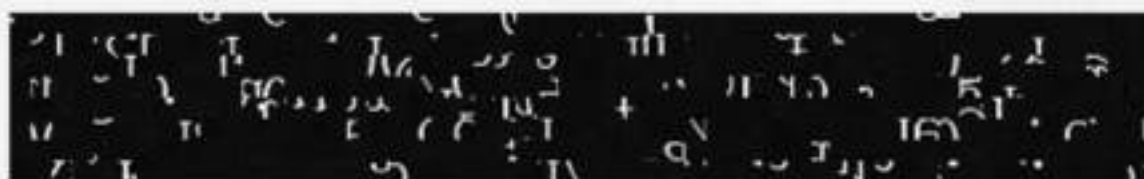
発行日
2002年8月11日 初版

印刷
ユニプリント様

この本の内容の無断転載を禁止いたします。



サークルの情報 HP ページは
<http://isweb11.infoseek.co.jp/play/bjack>
にて随時公開しております。





presented
by
bakunyu fullmerson

禁無断転載